



農林中央金庫



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

2023年10月6日

農林中央金庫

NTN 株式会社とのサステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

農林中央金庫（東京都千代田区、代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」）は、NTN 株式会社（大阪府大阪市、執行役社長：鶴飼英一、以下「NTN」）のサステナビリティ・ファイナンス・フレームワーク（以下「本フレームワーク」）の策定支援を行うとともに、本フレームワークに基づくサステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）の金銭消費貸借契約を締結いたしました。

SLL は、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、貸付条件と SPTs の達成状況を連動させることで、借り手に目標達成に向けた動機付けを促し、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長を支援することを目指すものです。

NTN は今後も金融機関との間で継続的に SLL に取り組むことを想定し、本フレームワークを策定しました。本フレームワークは、NTN の SPTs、レポート等々の要件を統一的に定義したもので、今後 NTN が各金融機関との間で個別に SLL を取り組む際に汎用的に活用することができます。

NTN は、1918 年の創業以来、挑戦し続ける「開拓者精神」と、社会とともに発展する「共存共栄精神」という 2 つの創業者精神を胸に、企業理念に基づきグローバルで事業を展開しています。人と自然が調和し、人々が安心して豊かに暮らせる「なめらかな社会」の実現に向けて、機械の回転をなめらかにし、エネルギーのムダを極限まで低減する軸受（ベアリング）などの商品を提供することで環境・社会的価値の創出を図るとともに、SDGs に対応するマテリアリティの目標達成に向けた ESG 経営を推進しています。

当金庫は、自らの存在意義（パーパス）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみならずともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めています。また、2021 年 5 月に公表した中長期目標のなかで、2030 年度までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を 10 兆円とする目標を掲げるなど、サステナブル経営を実践しています。そのうえで、当金庫は NTN の企業理念にも共感しており、本フレームワークの策定支援ならびに、本件ローンによる資金供給を通じて当社の取組みを後押しし、当金庫の基盤となる農林水産業との関連が大きい気候変動問題をはじめとした環境・社会課題の解決に貢献していくことを目指します。

NTN は、サステナビリティに向けた重要な取組みの一つとして脱炭素社会への貢献を掲げており、本件の SPTs では NTN が掲げる脱炭素目標「2035 年度カーボンニュートラル」（※）の実現に向けた中間目標の達成状況を対象として設定しています。

（※）2030 年度までに Scope1・2 の CO2 総排出量▲50%削減（2018 年度比）、2035 年度までに Scope1・2 のカーボンニュートラル達成、2050 年度までに Scope3 のカーボンニュートラル達成。

なお、本フレームワークに関しましては、SLL 原則への適合、および設定した SPTs の合理性について、株式会社格付投資情報センターより 2023 年 10 月 6 日付で第三者意見を取得しており、上記 SPTs については、野心底および有意義性等の観点から SLL 原則に適合していると評価されております。

【本件ローンの概要】

- 実行日：2023年10月6日
- 融資期間：5年および6年
- 融資金額：合計100億円

【参考リンク】

※1 NTN ウェブサイト

<https://www.ntn.co.jp/japan/index.html>

※2 NTN のサステナビリティに関する取り組み

<https://www.ntn.co.jp/japan/csr/index.html>

※3 NTN のフレームワークについて

https://www.ntn.co.jp/japan/news/press/pdf/news202300075_1.pdf

※4 株式会社格付投資情報センターによる第三者意見

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 大阪支店 関西営業部 TEL 06-6205-2111